

平成30年6月22日10時00分 発表

6月19～20日梅雨前線による豪雨における

竜門ダム^{りゅうもん}の効果について

◆竜門ダムの操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

6月19～20日の梅雨前線による豪雨では、竜門ダムへ流れてくる水量の一部を竜門ダムへ貯め、下流の河川へ流す水量を最大で約8割低減させました。

◆竜門ダムの水位低減効果

この操作により、ダム下流の菊池市玉祥寺隈府水位観測所において、河川の水位を最大55cm低下(避難判断水位^{ぎょくしょうじ わいふ}*1を水防団待機水位^{ぎょくしょうじ わいふ}*2まで引き下げ)させる効果がありました。

※1:市町村からの避難準備情報などの避難情報が発表される目安となる水位

※2:水防団が待機する目安となる水位

※河川の水位や低下量などは速報値であり、今後変更になることもあります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 菊池川河川事務所

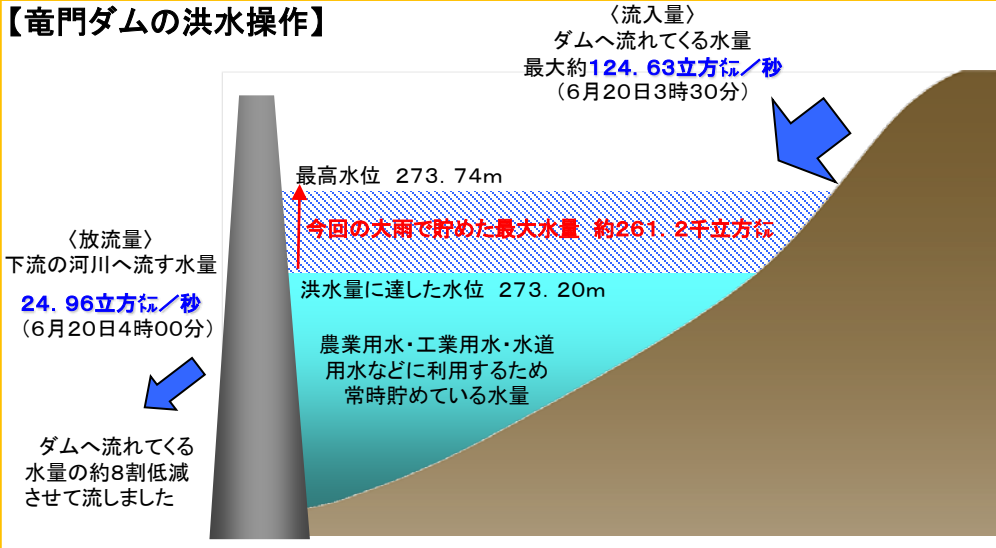
副所長 大林

TEL 0968 (44) 2171

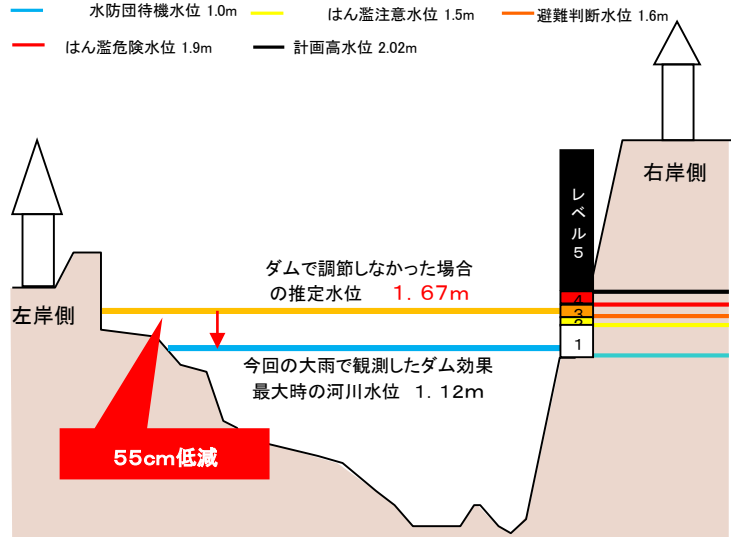
竜門ダム管理支所長 松本

TEL 0968 (27) 1120

【竜門ダムの洪水操作】

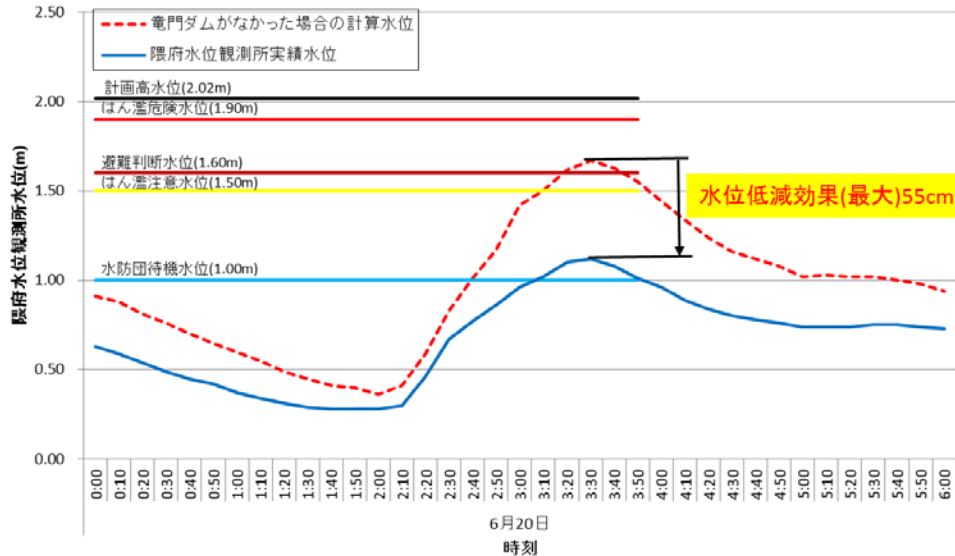


【竜門ダムにおける水位低減効果(最大)】



※ダムで調節しなかった場合の推定水位は速報値のため堤防から川の水が溢れることを考慮しておりません。

【隈府水位観測所 観測水位】



【隈府水位観測所 状況写真】

